

項目	観光、交流	地域 地区	春日 黒井
----	-------	----------	----------

☆活動名： 甲冑づくり(黒井城PR)

★事業を始めたきっかけ、ねらいは？

- ・黒井地区自治協議会では、黒井城にかかる歴史的な財産をこの地域の活性化のために有効的に活用する取り組みを行っている。毎年開催する「黒井城まつり」での武者行列は子どもたちの参加もあり大変盛り上がる。そこで、地元住民が中心となり交流を深めながら「マイ甲冑」をつくることで黒井城の存在をさらにPRすることを考えた。作り始めてほぼ30年、約60体が完成した。
- ・さらに甲冑は黒井城にまつわる様々なイベントで、展示や使用を（着用）している。

★事業の効果は何ですか？

- ・地元住民はもちろんのこと、市内各地、市外からも希望者があり、歴史に興味のある人も多く、「つくりながらの交流」も深められている。
- ・また、来年度の大河ドラマ「麒麟が来る」の放映もあり、地元の行事のみならず、展示などにも多くの依頼があり、つくられた方の有用感の高揚、黒井城のPR等にも大いに役立っている。
- ・甲冑づくりを体験したことによって地元への愛着心が強くなるとともにその後の絆も深まっている。



★ここがポイント！！

〈作った方の感想〉

- ・作業内容が多く、完成するのに数年間かかったが、出来上がりを見て、非常に満足している。家宝にしたいと思う。
- ・教えてもらうことにのめりこんでしまい、大変有意義な時間を過ごせたと感謝している。また、戦国時代に戻った感も大いに湧いてきた。
- ・約1年間かかったが、その間に知りえた人たちとの交流は、終わった今も続いている。
- ・キットになっていて、作り方は覚えやすかった。力がそんなに必要ではなく、女性でも充分楽しんで作ることができた。
- ・作った甲冑を付け、城山に立ってみると、直正になったような気分であった。先人の思いに触れられ最高であった。・材料費が3万円～5万円かかるので多くの人に広がるのは難しいかもしれない。できればもう少し 安価でできるようになれば嬉しい。



★お知らせ

〈甲冑づくり〉

- 期 間 一年中受け付けています。
申し込みは下記黒井地区自治協議会まで。
- 場 所 黒井地区自治協議会「しろやま交流館」
- 内 容 ボール紙を使った甲冑づくり
- 経 費 材料費3万円～5万円
完成までの時間7か月～2年

連絡先 他	黒井地区自治協議会 TEL：0795-70-3139	第1・3週	月・水・金 9:00～16:00
		第2・4週	月・水 9:00～14:00 火・木 11:00～14:00

項目	地域福祉、交流、子ども・教育	地域 地区	春日 春日部
----	----------------	----------	-----------

☆活動名：ふれあい食堂(カフェはるべ)

★事業を始めたきっかけ、ねらいは？

- 地域の活性化には交流を深めることが重要と考え、既に実施されていたカフェを拡充することが手っ取り早く確実と考えました。
- 自治協議会を地域の方に知っていただくとともに、地域の人がお互いに知り合いになってほしい。
- ねらいとしては、ボランティアを通して次のリーダーを各地で作りたいという思いがありました。



「カフェはるべ」



「出前カフェ」

★事業の効果は何ですか？

出前カフェの実施により、運営に自信を得たボランティアから拠点の改修やランチ提供のアイデアが出され、お弁当（配食）の実行へ研究を重ねております。また、拠点利用者が大幅に増加したことなど集いの場として定着しつつ、様々な効果が表れています。

★ここがポイント！！

- 出前カフェは、拠点施設での開催でなく、各自治会、集会施設にて開催し、自治会のボランティア（やりたい人）が運営してもらっている。
- みんなが集うと話が弾む。話が弾むと困りごととも言える。→孤独化を防ぎ、次の相談窓口へとつなげられる。

★お知らせ

• 毎週火・水は、500円ランチを開催しています。メニューは広報紙春日部こみにぺえじに掲載。また、毎月第2・4土曜日（11：30～15：00）は、ふれあい食堂（子ども食堂）をかいさいしており、カレー定番メニューで食べ放題としています。幼児無料、小～高校生100円、大人300円です。ぜひ、みなさんお誘いのうえ、お越しください。

連絡先 他

春日部地区自治協議会
TEL：0795-74-1150

項目	文化・スポーツ、子ども・教育	地域 地区	春日 船城
----	----------------	----------	----------

☆活動名： 歴楽FUNAKI

★事業を始めたきっかけ、ねらいは？

船城地区にある神社仏閣の建物、そこに残っている古文書等の貴重な歴史的資料について、地元住民等が知ること、そして後世に残すことをねらいに「歴楽」は始まった。毎回、講師に地元歴史研究家の山内順子氏を招き、講義を受けている。非常に分かりやすい説明で学習した内容は「歴楽」という冊子に写真や説明、その「言われ」なども掲載している。

★事業の効果は何ですか？

〈参加者の声〉今では船城地区自治協議会の取組としては最も参加人数が増え、毎回40名程度の人がある。「ふるさとにこんな貴重な歴史的な財産があることに驚いた。保存についても考えたい」「歴史が大好きで、次から次から興味が湧いてくる。子どもや孫たちにも必ず伝えていきたいと思った。」「普段から付き合いのない人とも歴楽で出会えたことは嬉しい。友だちも増え、外へ出る楽しみが増えた。今度は友だちも誘ってみたい。」

★新才地区「愛宕神社」の紹介

『自治会資料』

- 舟城神社の「神社明細帳」によると、祭神は火の神である。
- 創建年代は不詳だが、石灯籠から見て、寛永年間と推定される。
- 境内の建物は舞殿（お堂）、拝殿、稻荷神社、天満宮、山の神である。
- 毎年8月24日に愛宕祭、10月第一日曜日にお頭渡しの行事、2月3日節分には舞殿で餅まきがある。
- 『丹波志』が記された当時は「地蔵大権現」と呼ばれていた。
- 神仏習合の時代には、神像として甲冑姿の地蔵菩薩が表されている。



連絡先 他

船城地区自治協議会
TEL：0795-74-0601
[月・水・金 9：00～18：00]